

「八蛇川上流」 異形なるものたち

ヤマウツボという珍しい奇妙な植物が飯綱町にあります。八蛇川上流の沢沿いを歩いていて、落葉が重なる斜面に桃褐色の無気味な姿を14株も目にしたときは驚きました。ムーミン谷に出てくるニョロニョロ（土筆に目の付いたような生き物）みたいだなと思いました。

ヤマウツボはサワシバというカバノキ科の樹の下にありました。この異形なるヤマウツボの仲間は、長野県版のレッドデータブック^注の口絵写真に掲載されており、カバノキやブナ科の植物に寄生するとされていますが、飯綱町での分布記録はありませんでした⁹⁾。そのほかに特筆すべきこととして、この八蛇川上流の渓谷にはトクサ(木賊)



ヤマウツボ

が多く自生しています。各所に大群落を形成していて、その姿は恐竜が出現する太古の世界のようです。また、メグスリノキが溪流の水面の上に枝を渡し、柔らかい産毛を持つ新しい葉を広げたりしています。

八蛇川支流の最上部にあたる上村地籍には、ハンノキ林が生